非核・いしかわ

2021 年 3 月 20 日　月刊第 272 号

〒920-0848 金沢市京町 28-8　石川民医連労働組合気付
非核の政府を求める石川の会
TEL 076-251-0014　FAX 076-251-3930
http://hikakuishikawa.com/

非核五項目
① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

核兵器禁止条約の署名は 86 か国、批准は 54 か国（3 月 15 日現在）

1 面　全国から注文が相次ぐ 岩佐幹三さん被爆証言「紙芝居」　川崎正美
2 面　核禁条約は核軍縮へのアプローチ　中満　泉
3 面　草の根の運動で核廃絶を進めよう　山口二郎
　一人一人が思うこと　湯川れい子
4 面　名護市長選挙と知事選挙勝利のために　瀬長和男
　核兵器禁止条約批准が 54 か国に
5 面　「核禁条約に日本こそ参加を」　池田治夫
　＜会員エッセー＞　原　和人
6 面　＜会員エッセー＞　納口清隆、横山葉月
7 面　地域の祭り　永山孝一
　＜独標＞黒い森　大川陽一
8 面　シリーズ・石川の山めぐり　吉沢京子
　非核・平和の掲示板

全国から注文が相次ぐ 岩佐幹三さん 被爆証言『紙芝居』

川崎正美

広島で被爆した岩佐幹三さんの被爆証言を元にまとめた紙芝居「戦いはまだ終わらない」の復刻版が昨年十一月に完成しました。今から三十二年前、金沢市立十一屋小学校の六年生が描いたものを、私たち「平和の子ら」委員会が、「被爆体験編」十七枚、「戦後被爆者運動編」九枚の計二十六枚一セットに再構成したものです。この紙芝居について、新聞やテレビが数多く取り上げてくれました。その中で、毎日新聞は、東京や名古屋、大阪、九州などの夕刊の一面に大きく取り上げてくれました。しかも、問い合わせ先として、事務局である私の携帯番号を載せてくれていました。おかげで全

花鳥風月

「金メダル級の女性蔑視」（国際人権団体「ヒューマン・ライツ・ウオッチ」）と批判された森喜朗五輪・パラリンピック組織委員会前会長。国内外から抗議の大波が巻き起こり、やっと二月一二日辞任を表明した▼そして一八日、新会長に橋本聖子氏が発表された。森氏と「父と娘」と言い合う人で、森氏の影響力温存体制である▼「選考の透明性」が口々に語られながら、「候補者検討委員会」のメンバーすら非公開、3回開いたという検討委員会の中身も非公開。そこで橋本氏が「選ばれた」。〝密室協議〟そのものではないか▼橋本氏の資質の問題も指摘されている。ソチオリンピックの「打ち上げ」会でのキス強要の問題だ▼そして何よりも問題なのは政治的中立性を欠いていること。安倍・菅政権の閣僚だった人物で、自民党籍はぬいたが、参院議員はやめないという。五輪憲章の根本原則には「オリンピック・ムーブメント（運動）におけるスポーツ団体は、…政治的に中立でなければならない」とある▼コロナ禍の中で国民の8割はこの夏の開催を望んでいない。一方菅政権は、総選挙を有利に運ぶため開催にこだわっている。組織委員会が政治的な思惑を排し、開催の可否を冷静に判断できるか注目したい。（に）

国各地から購入の申し込み電話がかかってきました。

「たった今、新聞を見ました。感動しました。いい仕事をしてくださいました」と最初に電話をくださった女性は泣いておられました。

「核兵器禁止条約を批准しないなんて、わが国の政府は間違っている」と怒りながら電話をしてくださる方もありました。

ファックスではなく、電話での注文は時間がとられて大変ですが、いい面もあります。なぜこの紙芝居を購入しようと思ったのか、何か活動をされているのかをたずねることができるからです。東京の空襲を語り継ぐ活動をされている方、小学校で読み聞かせボランティアをされている方、朝鮮学校や、ハンセン病患者の支援をされている方など、様々な方がおられました。

「私は特段、何もやっていないけど、孫に読んでやりたくて」という方もたくさんおられました。

この内容の紙芝居だからそう売れることはないだろうと、最初に百セット作ったのですが、あっという間に完売となってしまい、さらに百セット追加しましたが、残りはもう二〇セットあまりとなりました。

ちなみに、この紙芝居の記事を書いてくれた毎日新聞の若い女性記者は長崎出身で被爆三世です。ありがとうIさん。

（「平和の子ら」委員会事務局長）

◎残部僅少ですが、お求めは
携帯電話　０９０２３７４８７８４
川崎正美まで

紙芝居「戦後被爆者運動編」の最終ページより

条約発効初の3・1ビキニデー　オンライン開催

来賓挨拶・連帯挨拶を紹介します

核兵器禁止条約は核軍縮へのアプローチ

国連事務次長　中満　泉

国連代表として来賓挨拶する中満泉さん

皆様の核兵器のない世界の実現、被爆者の窮状に光をあて、その証言を共有できる場を提供することへの絶え間ない情熱と献身に対し、お礼申し上げます。

一九五四年三月一日、アメリカがビキニ環礁で実施したキャッスル作戦のブラボー実験ほど、核軍拡競争が大惨事を招く危険性を明示した出来事はありません。核兵器の壊滅的な、人的な、そして環境への影響と、さらに大きな破壊力を持つ兵器を追求する愚かさを永遠に警告しています。なぜ世界が検証可能で法的拘束力のある手段で、あらゆる種類の核実験を禁止し、包括的核実験禁止条約の発効に向けて努力する必要があるのかを示す実例でもあります。

核兵器禁止条約には核実験の犠牲者支援条項があり、核実験による被害を受けた当事者にとって歓迎すべき進展です。この条約は、人間を中心とした核軍縮へのアプローチにとって大きな前進です。今年発効したことは、核軍縮とその目標を多国間主義に基づいて追求する強い決意を表しています。

多くの国と市民団体の努力にもかかわらず、核の脅威は依然として受け入れがたいほど高い水準にあります。この増大する核のリスクを排除する唯一の方法は核兵器を廃絶することです。核兵器国には核軍縮をリードする義務がある一方、すべての国にも核軍縮を追求する責任があります。すべての国が平和な未来を築くために、世界の若者を含め市民社会の専門的知識と積極的な行動に支えられなければなりません。

八月に予定されている第一〇回核兵器不拡散条約（ＮＰＴ）運用検討会議は、核軍縮に向けた具体的な措置を講じるために、核兵器国と非核兵器国が対話をする最善の機会です。この努力を国際社会全体が支持することを希望します。

核兵器のない世界は実現可能です。しかしそのためには決意と対話、協力する意思が必要です。この目標を達成するために、原水爆禁止日本協議会のみなさまがこれからも努力を続けられることを期待しております。力を合わせ、平和で安全な世界を実現できると信じております。

草の根の運動で核廃絶の世論を高めよう

法政大学教授　山口二郎

新署名共同呼びかけ
人として連帯挨拶

核兵器禁止条約は人類の歴史のなかでも新しいページを開く画期的なものと感動しています。この条約発効まで本当に多くの国々、たくさんの方々の努力があったため関係者の皆さんに心から感謝と敬意を申し上げたいと思います。

私たちは唯一の戦争被爆国である日本も批准すべきと思っていますが、国際政治においてはしばしば現実主義といわれる人々からブレーキがかかる。あるいは冷笑される。「現実を見よ、日本は米国の核の傘に守られている」「東アジアでは中国脅威論と北朝鮮の核開発」などの議論が必ず出てきます。目の前の問題に動揺してはいけない。

外交問題では相手国としっかり話し合いながら同時に私たちは人類の歴史というあるべき姿を常に見失ってはいけない。核兵器の禁止は長い時間をかけて追求していく理想であると私は考えています。

今すぐに超大国が核兵器をゼロにすることは考えにくいが、数十年、百年の単位で考えてみたときに核兵器は実際に使うことができない兵器であることは広島、長崎などの経験に照らしても明らかです。使えない兵器のために莫大な資源を浪費していく、緊張を高めていくことがいかに愚かなことか。米国でもオバマ政権当時に「核なき世界」を政策に掲げた。今回バイデン政権が発足してオバマ時代の核政策への復帰が問われている。

あるべき方向を言い続ける人がいないと目の前の現実が永久に続いてしまう。その意味では核廃絶の草の根の運動、グローバルな連帯をこれからもどんどん強化していくこと。核兵器禁止条約は大きな成果、一歩前進しました。私たちはこれからも声を挙げ続けて、皆さんと共に努力していきます。

今年一〇月までに総選挙がおこなわれます。市民連合は立憲野党への要望書の中に「核兵器禁止条約をただちに批准する」を明記しました。総選挙では日本が核廃絶の先頭を走るという世論を湧き起こし、高めていきたいと思います。共に頑張りましょう。

一人一人が思うこと

音楽評論家　湯川れい子

新署名共同呼びかけ
人として連帯挨拶

夢のような核兵器禁止条約ができました。条約が発効した一月二二日は私の八五歳の誕生日でした。私だけの誕生日ではなく、核禁条約の誕生日になったことをうれしく思っています。しかし核保有国はまだ参加していません。残念ながら唯一の戦争被爆国である日本も参加していませんが、すごく大事な大事な第一歩だと思います。

核兵器というものは人類にとって人道上、非人間的なものであるということを世界が認めた出発点になりました。持つことも作ることも、そしてそれを使うことは勿論、核兵器によって威嚇することも許されないという条約です。

小さな国々が五〇以上集まってくれた。日本も小さな国ですよね。そんな国にとって本当に核兵器というものが果たして抑止力になるのか、私は絶対にならないどころか脅威でしかないと思います。なぜなら人間は幸福に生きるために生まれてきます。爆弾は破裂するために生まれてきます。だからちょっと間違ったら、いつ破裂してしまうかも知れない。それが彼ら（爆弾）にとっては使命です。それが大きな殺戮につながるのだったらもっと被害を限定した小さな核兵器をつくればよいとの考え方もすでに生まれています。

しかし、この小さな日本にはこれまでに五四基もの原発が建設されています。これから先、どのような天災があるのか、核兵器の場合は人災があってもものすごく大きな悲劇的な結末を私たちに突きつけないとは限らないわけですね。

とにかく一人一人の心が絶対、絶対、絶対あってはいけないと思うこと。核兵器廃絶は一人一人がそう思うこと。戦争もそうです。

War is over if you want it. あなた自身がそう思わない限り戦争はなくならない。核兵器もなくならない。だから一人一人が本当に心から頑張ってその夢をめざして生きていきましょう。

講演要旨

辺野古新基地建設阻止へ
名護市長選挙と知事選挙勝利のために

沖縄県統一連事務局長　瀬長和男

「腹八分、腹六分」の共闘、オール沖縄の現状報告された瀬長和男さん

宮古島と浦添市長選挙の結果

まず今年おこなわれた宮古島と浦添市長選挙の結果について報告します。宮古島では市民からの市政刷新を求める声が新しい市長を誕生させることができました。市政刷新を求める活動は四年前の市長選のときから継続しており、今回は私たちオール沖縄と新しい保守層が元自民党県議の座喜味一彦さんを候補者に擁立してたたかったことが大きな勝因です。米軍那覇軍港の移設問題が争点になった浦添市長選挙では候補者に伊礼悠記さんを擁立したのが昨年末で時間が足りず、現職に勝てなかった。また市長選と市議補選が同日にあり、現職市長支持の市議は一九人、伊礼悠記さん支持の市議は五人という厳しい条件での選挙戦になったことも敗因です。ただし、伊礼さん陣営では四年後をめざして活動を継続することを確認しています。

解散総選挙・沖縄四選挙区への影響について

沖縄でも今年一番の政治戦は衆議院選挙と考えています。すでに四つの選挙区でオール沖縄の候補者を確認し、候補者活動を進めています。

辺野古新基地建設の設計概要変更承認申請で沖縄戦の激戦区だった本島南部の採石場から辺野古の埋め立てに使う土砂の採掘計画が示されたことにより、辺野古新基地が自分たちに身近な問題と受け止められるようになっている。沖縄県民は「あのような悲惨な体験はしたくない」「二度と戦争はしたくない」という強い思いがあり、私たちが訴えていけば勝ち抜くことができると思います。

辺野古のたたかいと名護市長選挙に向けて

防衛省が沖縄県に提出した辺野古の設計概要変更申請につき、玉城デニー知事は却下する見込みであり、引き続き法廷闘争がおこなわれます。沖縄では新型コロナの感染が急増しており、私たちはコロナ感染防止のためにも辺野古の工事は中止すべきと要求しています。菅政権はコロナ禍のなかでも工事を続行し、県民のあきらめを狙っていることは明らかです。沖縄でも声を挙げますが、全国の皆さんと一緒に「不要不急の工事をやめ、工事費をコロナ対策にまわせ」の声を挙げていきましょう。

名護市長は辺野古新基地容認ですが、市議会では辺野古反対が半数以上を占めています。四年前、稲嶺市長の落選はショックでしたが、稲嶺市長を支えていた市議の皆さんはしっかり団結してこれまで活動を継続しています。来年二月の名護市長選に向けてオール沖縄は力を合わせて、ぜひ名護市長を取り戻していきたい。

知事選挙勝利のために

来年九月には玉城デニー知事の再選をめざす知事選挙があります。オール沖縄のなかで米軍軍港移設への賛否があり、また県議の一部に菅政権に接近する動きもあります。このような分断をいかに乗り越えていくのかが一番大事な課題になると思います。

沖縄の衆院の四選挙区ではそれぞれ地域毎に課題はあるが、オール沖縄の総意である「建白書の実現」（①オスプレイの配備を直ちに撤回すること、②米軍普天間基地を閉鎖・撤去し、県内移設を断念すること）これにつきると思います。「腹八分、腹六分」の関係を維持し、発展させていき、衆院選の四選挙区とも勝ち抜いてオール沖縄の柱を太くすることで来年の名護市長選、県知事選につなげていきたいと思います。

（まとめ　非核・いしかわ編集部）

◎二月一三日、オンラインで開かれた安保廃棄中央実行委員会「学習と運動交流の集い」の講演要旨です。講師の瀬長和男氏は瀬長亀次郎氏の孫です。

ロトピックスロ
核兵器禁止条約批准が五四か国に

国際核兵器廃絶キャンペーン（ICAN）のウェブサイトによると二月一八日、フィリピンが、同一九日、コモロが新たに核兵器禁止条約を批准し、批准は五四か国・地域となりました。

批准の前段階に当たる署名は、これまで八六か国・地域（批准国を含む）が国連に提出しており、ICANでは年内に七〇か国、三年後には国連加盟国（一九三か国）の半数以上、一〇〇か国の条約批准をめざしています。

県内全自治体の「非核平和都市宣言」を土台に

「核兵器禁止条約に日本こそ参加を」

県・市・町議会に意見書提出を要請しよう

三月五日、非核の政府を求める石川の会（以下、非核石川の会）の呼びかけで平和運動に取り組んでいる県内諸団体が集まり、核兵器禁止条約（以下、核禁条約）が発効したことを踏まえて、今後の運動の進め方について相談会を開きました。

核禁条約について核保有国と同盟国の政策を変えさせる運動が各国内の市民運動に求められています。

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」を広範に進めると同時に、国民の七割以上が「日本も参加を」と求めていることをふまえて、住民にもっとも身近な地方議会から政府に「核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書」をあげてもらう取り組みが大事だとさまざまな角度から討議し、最終的には次のようにまとまりました。

①全国では三〇・五％に当たる五三二議会が同趣旨の意見書を採択しています。岩手県は県議会をはじめ全市町村、石川県では白山市議会が採択しています。石川県では「非核平和都市宣言」や「平和首長会議」への加盟を全市町で達成してきた貴重な経験があり、その教訓を生かします。

②議会には陳情書を持って議長さんと面談し、丁寧に説明して、適切な取り計らいを要請します。

③議長さんへのお願い訪問には、被爆者・学者・文化人・宗教者などに参加を要請します。

④懇談の場には、世界と日本各地の動きがわかる資料を持参します。

とくに、「非核平和都市宣言」及び「平和首長会議」参加自治体としては、政府に対して核禁条約への参加を求めるのはごく自然なことだということの理解を求めます。

ベルギーなどNATO加盟国での核禁条約へのアプローチを紹介し、日米安保条約下でも核禁条約への参加は可能であることなどについて意見交換できることを願っています。

⑤とりくみ推進の事務局は、「非核平和都市宣言」運動と同様に、非核の政府を求める石川の会が担います。

（まとめ　池田治夫）

◆相談会に参加した市民団体◆

非核の政府を求める石川の会
石川県原爆被災者友の会
核戦争を防止する石川医師の会
原水爆禁止石川県協議会
石川県平和委員会

非核石川の会リレーエッセー

非核の政府を求める会は核問題のシンクタンク

原　和人

非核の政府を求める会（以下、会）は、一九八六年五月一九日に発足したらしい。僕は全日本民医連の役員をしていた二〇年ほど前に、組織派遣として会の常任世話人会に参加するようになったが、発足当時のことは余り知らない。

僕が代表世話人の一人を担っている反核医師の会の発足も一九八七年八月だ。その頃、米ソの核兵器の数はピークに達して、いつ核戦争が起きてもおかしくない状況が続いており、そういう状況の中で一九八六年一〇月にレーガン・ゴルバチョフ会談が行われ、核戦争防止への機運が高まっていた頃である。

会は毎月一回の常任世話人会を開催し、三時間にわたって国内外情勢と核兵器の廃絶に向けての議論、総会方針や声明などが論議される。その他に毎月核問題調査専門委員会が開かれ、その道の専門家を招聘して論議する。

平和団体や核廃絶を求める様々な組織があるが、僕は会の一番の特徴は、核問題に関してのシンクタンクだと思っている。僕が常任世話人会に参加した頃は、元長崎大学の藤田俊彦先生が海外のニュースや論文から話題を提供され、とっても勉強になった。残念ながら数年前に体調を崩され昨年一二月に亡くなられ、会の発足当時からの常任世話人は、元気象庁におられた増田善信先生だけになってしまった。会の発足当時は、それぞれの分野のそうそうたるメンバーがそろっていたようであるが、最近はその後を引き継ぐ学者・文化人が少なくなっているのが、ちょっと残念だ。

一年前の新型コロナウイルスの感染拡大により、会もご多分に漏れず東京で一堂に会しての会議ができなくなりオンラインで会議が行われている。良かったことは、核問題調査委員会もオンラインで開催され、その会議にも参加できるようになったことだ。

僕は自分では余り勉強する方ではないので、会の活動に参加して核兵器に関係する情報を得て、反核医師の会の活動に役立てている。

今年七月の非核の政府を求める会総会（左記）はオンラインを併用してのハイブリット形式で開催する予定であり、石川の会からも是非参加して欲しいと思う。

●非核の政府を求める会
二〇二一年度総会ご案内

・日時　七月一〇日（土）
　午後一時半～午後四時半
・会場　主婦会館プラザエフ八階
　（ＪＲ四ツ谷駅前）
・オンライン併催です。参加方法については「非核の政府を求める会ニュース」及び本紙次号で紹介します。

非核の政府を求める石川の会
2021年度総会　開催案内

日時　5月29日（土）午前10時
会場　近江町いちば館4階研修室1
＊総会では2021年度活動方針を討議・決定し、2020年度決算、2021年度予算を決定し、次期役員を選出します。
＊新型コロナウイルス感染防止策をとって開催します。ご出席をお願いします。

人権侵害がはびこると戦争する国になる

納口清隆

私が核兵器廃絶や平和問題に関心をもったのは、一九七〇年代の三・一ビキニデーに参加してからだったと思います。あれから約半紀が過ぎてようやく悲願であった核兵器禁止条約が二〇二一年一月二二日発効しました。しかし、核兵器も簡単にはなくならないでしょう。仮に核兵器がなくなっても戦争はなくならないでしょう。

大量破壊殺人兵器が悪で少人数を殺戮する兵器は善なのか。無差別殺人兵器は悪で標的を定めた殺人は正義か。いずれも人を殺すことに変わりはなく、悪であることは明白と思います。

人間はなぜ戦争をするのでしょうか。宗教の違い？人種の違い？国境で争い？その他いろいろの要因はあるでしょうが、大もとに個人の尊厳が軽んじられている実態があるからではないでしょうか。人権を無視する風潮が巷にあるからではなかろうか。

小中学校で、女の子の髪の色の点検をする、下着を点検する、スカートの長さがどうだとか子供の人格を否定する、人格を形成する教育現場での人権無視の実態、心身に異常をきたすような重労働、長時間労働の現場を改善しようとしない人権無視の企業主、日本学術会議の会員を理由も言わずに六人の方を解任する自公政権の人権無視、防衛大学の学生同士による暴力をふるう人権無視、徴用工問題、従軍慰安婦問題、戦争に反対した人、自由や平等を主張した人に対する人権侵害等々が、戦争をした国、する国になるのです。

二度と再び戦争をしない国にするために、何よりも人権を尊重する国にしなければと思います。

コロナ禍のなかで

横山葉月

最近、新聞でフォーク歌手の横井久美子さんの訃報を知った。ジョーン・バエズのメッセージソングと共に心に残った歌手であった。

もう半世紀も前になるだろうか。あの頃はベトナム戦争が続いており、核兵器こそ使われなかったが、今でも後遺症に苦しむ「枯葉剤戦争」や民族、人種の集団を計画的に破壊しつくしていく「ジェノサイド」という言葉を知った。そして困難な中、撮られた記録映像には心が震えた。

あれから半世紀たった今も世界中の戦争は終わらないどころか、何のための戦争か、訳のわからないまま増え続け、毎日たくさんの人が傷つき死んでいっている。

あまりにひどいことがおこり、特に昨今のコロナ禍の終息がみえない中、リレーエッセーをつきつけられてみると、私は自分自身が戦争に対して心が震えたような感性が鈍化しているのを感じてしまう。

それでも目を転じると世界中の核兵器禁止条約に参加する国はふえつづけ、五〇をはるかに越している。日本政府は「核兵器のない世界の実現にむけ、国際社会をリードする」との不可解な態度で禁止条約への署名・批准を拒んでいるが、若い人たちの生き生きとした活動とともに市町村議会や保守層、公明党の中にも同意が広がっているのをみることができる。

無関心、無感動ではいられないのだと思う。横井久美子さんの訃報はそんなことを教えてくれた。

故 横井久美子さん
（1月14日、享年76）

地域の祭り

永山孝一

「人類の歴史は感染症の歴史……感染症をただ恐れるのではなく歴史的、科学的に視ることを忘れないでいたい」吉野裕之氏「加賀市・橋立の獅子舞」（非核いしかわ二月号）に共感。

浅野川「堀川揚場」に近い五宝町（町名変更で現在瓢箪町、その昔は西御坊町）に生まれた私は、子供のころは「ハレ」の日が楽しみで、春秋の祭りの獅子舞は子供たちには大人気だった。春日町生まれの父によれば、「加賀獅子の大きな蚊帳には、笛・太鼓・三味線など囃子方として東の芸者衆も入っていた」。

日本全国、何処の祭りからも地域の人々の助け合うさまが伝わってくる。昭和の末期から平成にかけ建築の仕事で花の京都へ通ったが、山鉾巡行の祇園祭も、疫病の流行により朝廷が、八六三年（貞観五年）神泉苑で初の御霊会（ごりょうえ）を行ったのが始まりだという。

日本は、「明治の大合併」で、市町村の数が七万一三一四から一万五八五九に減少した。集落単位での「祭り」という「祈りの空間」の減少は、想像を超えるものがあっただろう。

詩人会議かなざわ「独標」より

黒い森

大川陽一

歳月の波に　飲まれて十年
ふくしまの　いのちの森は
兵士の隊列の如き
フレコンバックの黒い森

朽ち果てゆく家々
錆び付いた自家用車は
雑草に埋もれ
獣たちの庭となる

廃墟のなかに　そびえ立つ
真新しい校舎で
さあ、みんなで　未来をつくれと
子どもらを呼び戻す
ひとの面を付けた　鬼畜たち

人々の
故郷の
日常　賑わい　笑顔
家　家族　友人

町　山　川
明日　希望　夢
歴史　今　未来
すべてを奪った鬼たちよ
今宵も　灯りが消えた町で
明日の宴の夢を　見るつもりか

夢破れ　いのち流れ
累々と横たわる
兵士の屍（かばね）の如き
黒い森

編集室より

◎聖火リレーはどうなるのだろうか。読者が今号を手にする頃、東京五輪の号砲は放たれよう。だがしかし新型ウイルス対策と大会運営の同時進行は極めて難しい。選手・観客・運営関係者の受け入れ態勢や救護体制、施設・設備の開催後運用の各種契約、また背後にある膨大な関連事項や関連費用を考えると、大会関係者は途方に暮れることだろう。

ここで思い浮かぶのが、ポツダム宣言の受諾をズルズルと遅らせ、国土は焦土と化し、尊い人命を多数失わせた、先のあの大戦だ。もともとわが国には、ガダルカナル島の戦いやインパール作戦といった、止めるべき時に止めなかった過去が多数ある。痛苦の経験のはずだが、今回も玉音放送があるまで止まらないのか。（中）

◎未曽有の災禍をもたらした東日本大震災から一〇年となる令和の日本。新型コロナパンデミックで、退陣した安倍政権を「継承する」と言って、未来への展望を欠いて迷走する菅内閣。

前例として連想させるのは、ジェンダー問題で五輪組織委員長を辞任した森喜朗の内閣で、ともに出身が日本海に面した秋田県、石川県、山口県とは何を語るか。彼らに共通するものと言えば、「安保法制」への態度だ。

戦争は社会的な対立を武力で落着させるが、原因となる事象の科学的な解決の道筋をも遮断する。例えば、ドイツではヒトラー・ユーゲント、日本では「神の国」だ。また、核発電所の事故から一〇年の東日本大震災。核兵器の準備は宇宙船地球号に破滅をもたらす究極の非人道行為であり、それを「予約」する日米安保条約は、その為に無謀な対価を世界と国民に負わせ、平和憲法違反の反地球行為だろう。

米・大統領選でトランプ終末の悶えから世界は何を学んだか。良き指導者は、「希望」を語ることができるが、彼は、「絶望」を拡げた。中西部で勝利したという開票結果が東西沿岸部での敗北を示したことは、南北戦争の五大湖とカリブ海の争いが、時を経て形勢が変わったことを世界に教えている。（こ）

シリーズ・石川の山めぐり③

吉沢京子

能美市遣水（やりみず）観音山（四〇二・三m）は、奈良時代から白山信仰の霊場で、中腹の観音堂の明かりは、海上の漁師や北前船などの目標とされたそうです。

麓の霊水堂の脇の霊水場は霊水を汲む人が絶えません。仏大寺町住民によりきれいに手入れされています。

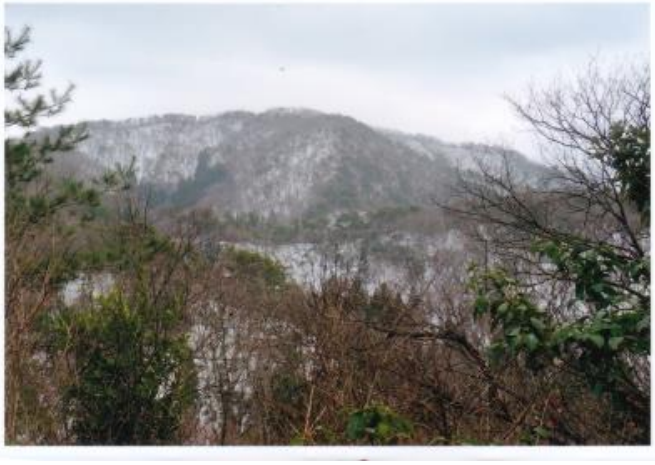
林道入口の仏陀寺本堂跡の案内板によると、仏大寺町全体が境内だったようです。

観音霊水堂

山野草はタムシバ、トキワイカリソウ、スミレ、ヒメカンアオイ、チゴユリ、椿、ツルリンドウ、そしてつくばね新道の由来になったツクバネもあります。

霊水場から一合目二合目・・・九合目と標識があり、頂上には白山が見える広場と辰口、小松方面が望める東屋がある。二等三角点は鍋谷とあります。

林道から登り、つくばね新道を下りて約三時間弱の行程です。



つくばね新道から遣水観音山頂上方面

非核・平和の掲示板

月	日	曜	時		会場
3	27	土	14:00	中部弁護士会・金沢弁護士会共催 「死刑廃止を考える」 冤罪事件から観た 死刑制度の実像	金沢市下本多町・金沢歌劇座大集会室
	31	水	12:50	怒りの昼デモ	金沢市香林坊・いしかわ四高記念公園横入口
4	3	土	10:00	むぎわらぼうし例会 「記憶の灯り　希望の宙へ」を読んで　東孝二さん	金沢市青草町・近江町いちば館　4階
	4	日	13:30	日朝協会石川県支部総会 記念講演「マスメディアと韓国・朝鮮報道」 須藤春夫さん	金沢市香林坊・石川県教育会館　2階
	10	土	13:00	小立野・犀川ロード九条の会　平和をかたる憲法カフェパート9 「覆車（ふくしゃ）の戒めとしての昭和史」 西尾雄次さん	金沢市青草町・近江町いちば館　4階
	14	水	12:50	怒りの昼デモ	金沢市香林坊・いしかわ四高記念公園横入口
	17	土	13:30	労働学校　明日、未来を切り拓く学習会 第3回講座「哲学」関西勤労者教育協会　箕作勝利さん	金沢市鞍月 地場産業振興センター本館・第7研修室
	28	水	12:50	怒りの昼デモ	金沢市香林坊・いしかわ四高記念公園横入口
5	1	土		メーデー　（オンライン配信の予定）	
	3	月・休日	14:00	平和憲法施行74周年記念石川県民集会　岡田正則さん	金沢市下本多町・金沢歌劇座大ホール
	15	土	13:30	労働学校　明日、未来を切り拓く学習会 第一講座「労働運動」 労働者教育協議会　山田敬男さん	金沢市鞍月 地場産業振興センター・新館第10研修室
	22	土	10:00	石川県平和委員会総会	金沢市高岡町・金沢市文化ホール
	29	土	10:00	非核の政府を求める石川の会総会	金沢市青草町・近江町いちば館　4階
	29	土	10:00	日中友好協会総会	金沢市青草町・近江町いちば館　4階
8	6日（金）～9日（月）			2021年原水爆禁止世界大会　オンラインを交えて開催	広島市・長崎市

＊祝日は休日とします　＊毎週金曜日 18:30どいね原発アピール行動 金沢駅兼六園口　＊毎月15日石川県沖縄連帯デー 12:00

*会報「非核・いしかわ」サポート会員を募集中　年会費 2,000円　ゆうちょ銀行口座　00760－0－15689